

学校名 蕨市立中央東小学校
所在地 蕨市中央7丁目18番7号
電話 048-443-3102

1 本校の概要

本校は、創立57年、児童433名、教員24名の学校で、「未来に向かって、一人一人が自分らしくかがやく、安心・安全な学校」を合言葉に教育活動を展開している。司書教諭を中心に、週2回勤務の学校図書館教育支援員や図書サポーター（ボランティア）の協力の下、学校図書館の環境整備、読書活動の推進に力を入れている。

2 本校の実践

(1) 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

①「年間50冊、5000ページ読書の推進」

本を読んだ冊数（低、中学年）やページ数（高学年）を読書カードへ記録し、読書への意欲の向上、読書の習慣化を図った。達成者には、学期ごとに校長先生から賞状が贈られる。

読書カード
(スプレッドシートで作成)



達成者への
賞状伝達の様子

②「図書委員会によるイベントの実施」

ア 本の読み聞かせ

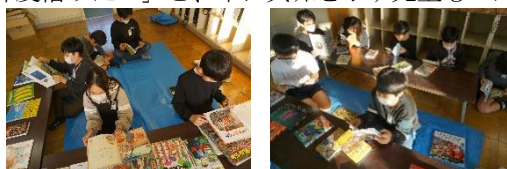
朝の時間に図書委員が各クラスに本の読み聞かせを行った。低学年は紙芝居、中、高学年はオスズメの本を読み聞かせた。



イ 移動図書室

「移動図書室」では、図書室の本を特別教室に移動し、自由に読むことができるようにした。本校は教室棟、管理棟、特別棟の3つの棟に分かれており、図書室は特別棟に設置されている。そのため、児童がいる教室棟から離れてしまっており、図書室に行くことに不便さを感じ、利用者が少ない現状があった。そこで教室棟に本を移動させ、図書室にある本を紹介することで、図書室へ足を運ぶきっかけづくりを行った。そのため、休み時間には多くの児童が来室し、様々な本を手に取り本を読む姿が見られた。「この本を

今度借りたい」と、本に興味を示す児童もいた。



③「掲示物の工夫」

図書委員で行う、スタンプラリーやクイズ等のイベントの告知や、児童に人気のある本の紹介ポスターをICTを使って作成し、各クラスへ掲示をして、図書室に足を運ぶきっかけになるようにした。

(2) 学校図書館等の環境整備

①「本棚の工夫」

表紙が見える本棚を配置し、季節に合った本を選定して、「今月のおすすめ」として配置した。表紙が見えることで興味を引き、手に取る児童が多くいたり、図書委員が紹介したりした。また、新規購入した本は、すぐに棚に配置するのではなく、一定期間「新しい本」の棚に配置することで、興味を引き手に取る児童が見られた。



②家庭で読まなくなった本の寄付活動

家庭で読まなくなった本やいらぬ本を寄付していただいた。その本を学級文庫として活用した。図書室になかなか行けないことから、学級文庫本の充実を図った。今年度は59冊の本が寄付され、児童の実態に応じて学級文庫に追加した。

3 成果と今後の課題

(1) 成果と課題

年度	2021	2022	2023
貸出冊数	4828	5764	3350

年度別学校図書館貸出冊数統計
(4月～翌年3月、2023年度のみ4月～11月)

今年度は、どの学年もコロナ前と同じように教育活動や行事が行われたことから、図書室へ行く機会が減り、過去2年の年間貸出冊数を大きく下回ってしまった。しかし、移動図書室の実施や、学級文庫の増冊の関係で、教室棟から遠い図書室に行かなくても本が読める環境を作ることができた。ICTを使った読書カードを利用したことで、個々の読書冊数を把握することが難しくなったので、来年度は全校で可視化できる掲示物の作成を行いたい。また、今後も魅力あるイベントや工夫を行い、多くの児童が本に触れ、図書室に行きたいと思えるような取組を行い、読書活動推進を実施していく必要がある。